令和８年度　大分市立上戸次小学校だより

どんこの里

No. １７

2026.10.30

発行者　野田　公博

本当に「あい」と「笑顔」であふれてるかな？

２学期の中間地点を迎え、いよいよ後半戦の始まりです。長い２学期…。子どもたちを見ていると何となく中だるみしているのかな？と感じることがあり、生徒指導の担当の先生や校長からも今の自分たちの行動をふり返ってみませんか？と子どもたちに伝えました。

「Ｉ（自分）」と「相手（友だち）」の関係が何となくゆるい「なれあい」になっていませんか？たくさんの「あい」を増やすことをめざしていますが、増やしたくない「あい」もあるね！と話しました。何でも許しあい、大目に見るだけでなく、時には友だち同士でも悪いことは悪いと厳しく指摘できるような関係であってほしいなと思います。

上小文化祭に向けて気を引きしめなおして頑張っている子どもたち。当日の姿をお楽しみください！

大きなおいもがほれたね！　～収穫の秋～

地域の取組として行っている花香地区のいも植えに上戸次小の１～３年生が参加させていただいたのが６月のことでした。その後、おいもはすくすくと育ち、いよいよ収穫の時期を迎えたとのご連絡をいただきました。そこで、今回は「全校でおいもほりをしよう！」ということになりました。

周りはすでにいもほりが終わっている状態で、上戸次小の分となるひとうねだけ残してくださっていました。地域の方がつるの部分を処理してくださっており、あとはただひたすらほるだけ！という感じでした。

子どもたちは、軍手をつけた手でほり進めていきますが、なかなかおいもを抜くことが来ません。実はおいもの育ちがよかったようで、今年のおいもは一つ一つがとても大きかったのです。それでも、地域の方のお手伝いをいただきながら、大きなおいもをほり上げました！子どもたちは、とても満足そうな顔をしていました。

こんな楽しい時間をつくっていただいた地域の方々に感謝です！ありがとうございました。



神 楽 練 習

明日（１０月３１日）が上小文化祭です。全校神楽披露のために練習を進めています。「上戸次子ども神楽クラブ」の方々のご指導をいただきながら、練習してきました。

１年ぶりの舞で、最初はぎこちなかった子どもたちは、ずいぶんと自信をもって舞えるようになりました。１年生や転入してきた子どもたちにとっては、今回が初めての全校神楽の取組になりますが、練習を重ねるごとにしっかりと舞を覚えてきたようです。

本番当日は、上小児童による全校神楽と「上戸次子ども神楽クラブ」の本格的な舞をお楽しみいただければと思います。



「あい」と「笑顔」にあふれる上戸次小学校